

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	83	実施済み	[平成 22 年 8 月 2 日 提出]					
基本方針	5 組織・機構の見直し					担当課名	まちづくり推進課	
重点項目	2 支所のあり方の検討							
取組項目	70 周辺町民の不安の解消策の検討							
経過・現状 (H17.4.1現在)	支所職員の減少に伴い、住民サービスの低下が懸念される。また、財政状況の悪化から地域イベントは規模縮小し、地域に疲弊感がある。							
推 進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 19 年度	
	検討		実施	-	-			
実績評価	A	A	A	-	-	達成年次	平成 19 年度	
	計画どおり	計画どおり	計画どおり	-	-			
行 動 概 要	目標	周辺町民の不安の解消策の検討						
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 住民サービスの向上。 重複した業務の見直しができ、地域自治への取り組みを創出できる。 						
	必要性問題点	<ul style="list-style-type: none"> 職員がそれぞれの地域課題を理解する必要がある。 職員の勤務時間、勤務形態へ配慮しなければならない。 						
	対象	周辺地域住民並びに全職員						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)	
		17年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援補助金の活用や地域担当職員の設置を検討。 				目標数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
		18年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域住民の不安解消策と住民サービス維持、向上を図るため、コミュニティ活動等への地域活動支援補助金を活用した。 地域担当職員の設置を検討し、9月から試行(5地区、10名)を行った。 				目標数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
		19年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域住民へのサービス維持、向上のため具体的に取り組む。 地域活動支援補助金の活用や地域担当職員の設置し、生活に密着した地域の課題について、地域住民と共に解決するための話し合いに参加した。 				目標数値	
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
	20年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動支援補助金の制度についてPRを行い活用を図った。 10戸以下の集落のうち5地区について集落の現況を代表に聞き取り調査した。 				目標数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
	21年度 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> 駐在員会議において「協働のまちづくり」の説明を実施。 自治活動の現況について駐在員にアンケート実施。 協働のまちづくり計画策定委員会を設置し、協働のまちづくり計画(指針・推進計画)を作成。 協働のまちづくり計画策定委員会にて地域活動支援補助金の拡充案の検討。 協働のまちづくり計画策定委員会にてまちづくり推進団体登録制度の検討。 				目標数値		
						効果	歳入(千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称	課設置条例など				改正時期		